

2023年7月期 決算補足資料

2023年9月27日

 **株式会社 稲葉製作所**

証券コード：3421
(東証スタンダード市場)



2023年7月期の業績について

持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

【ご参考】会社概要

業績サマリー

(単位:百万円)	2022/07期		2023/07期		
		対売上比		対売上比	前期比
売上高	39,152	100.0%	41,824	100.0%	+6.8%
鋼製物置	28,227	72.1%	29,484	70.5%	+4.5%
オフィス家具	10,925	27.9%	12,339	29.5%	+12.9%
売上総利益	9,623	24.6%	10,509	25.1%	+9.2%
償却前営業利益	3,826	9.8%	4,583	11.0%	+19.8%
営業利益	1,890	4.8%	2,754	6.6%	+45.7%
経常利益	2,286	5.8%	3,106	7.4%	+35.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,520	3.9%	1,970	4.7%	+29.6%

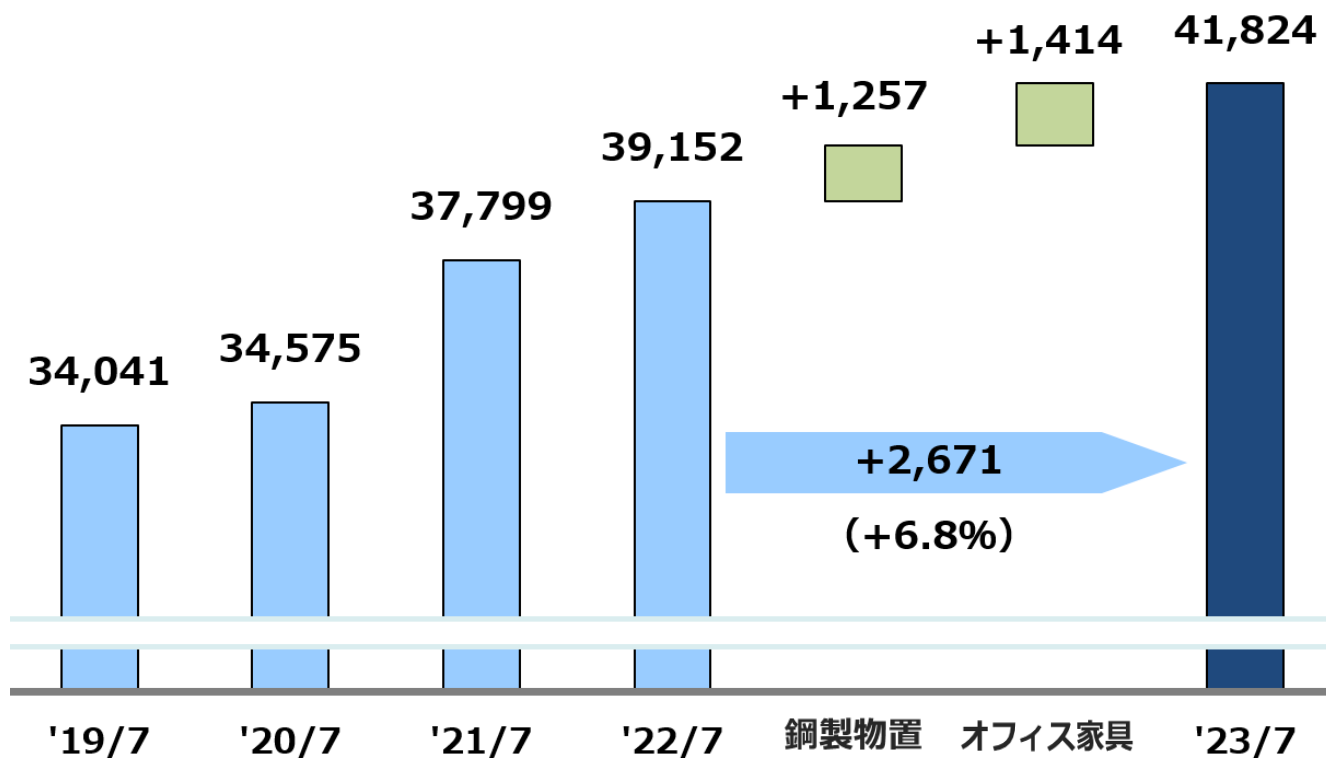
※2023年7月期は、チェア「swin」のリコールに伴い、関連費用181百万円を特別損失に計上しております

連結売上高

- ・ 鋼製物置、オフィス家具とも増収となり、連結売上高は6.8%増収
- ・ 上場来初となる400億円超を達成

連結売上高推移

(単位：百万円)

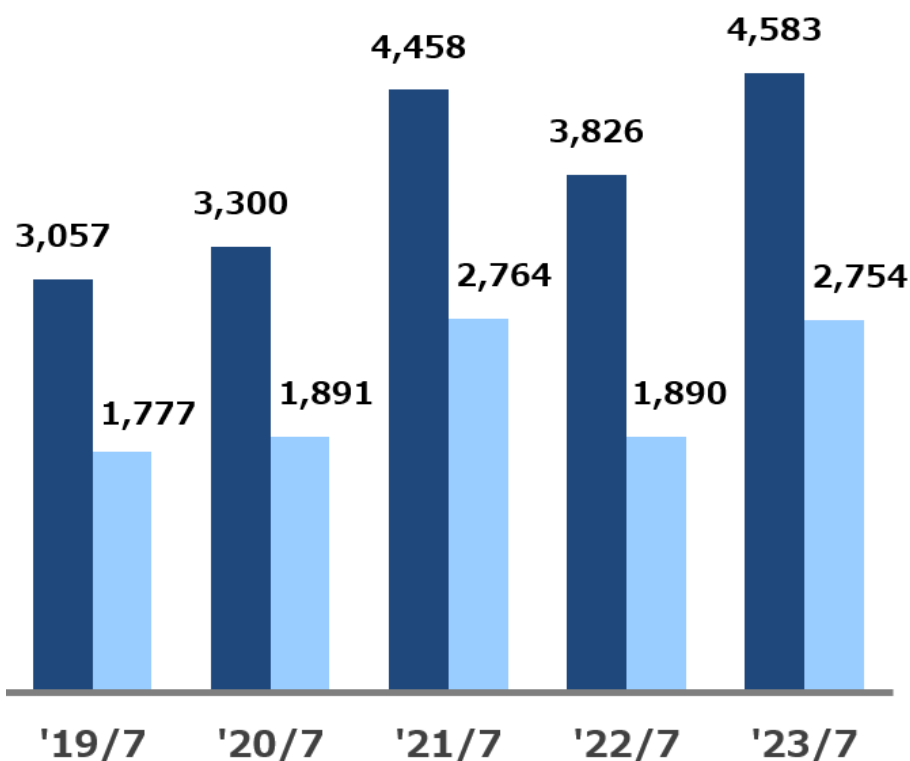


連結営業利益・償却前営業利益

- ・ 営業利益は、863百万円（45.7%）の増益
- ・ 償却前営業利益は、757百万円（19.8%）の増益

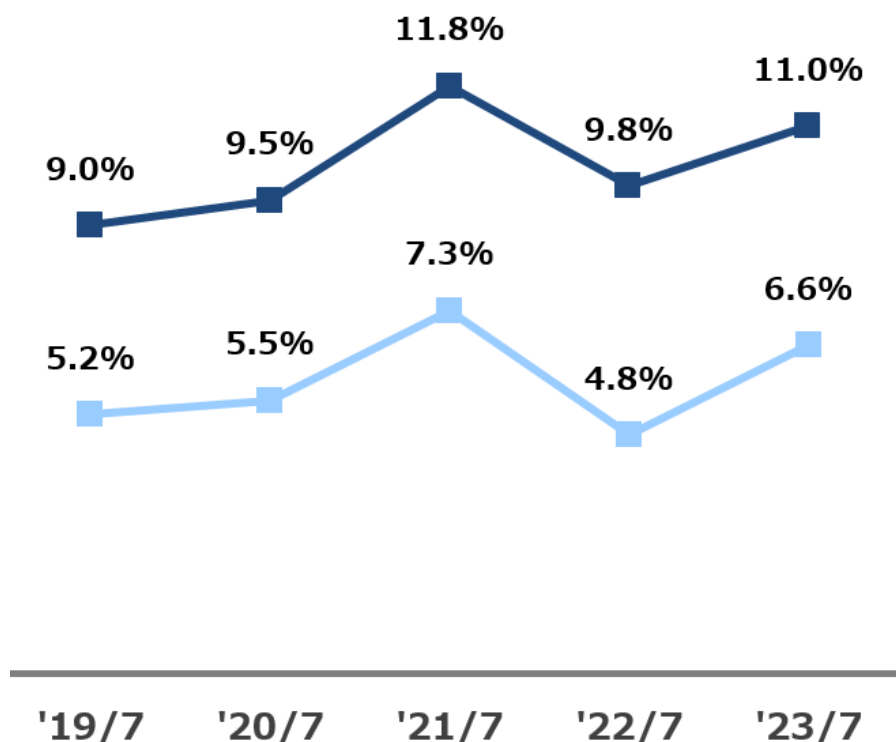
■ 償却前営業利益
■ 営業利益

(単位：百万円)



■ 売上高償却前営業利益率
■ 売上高営業利益率

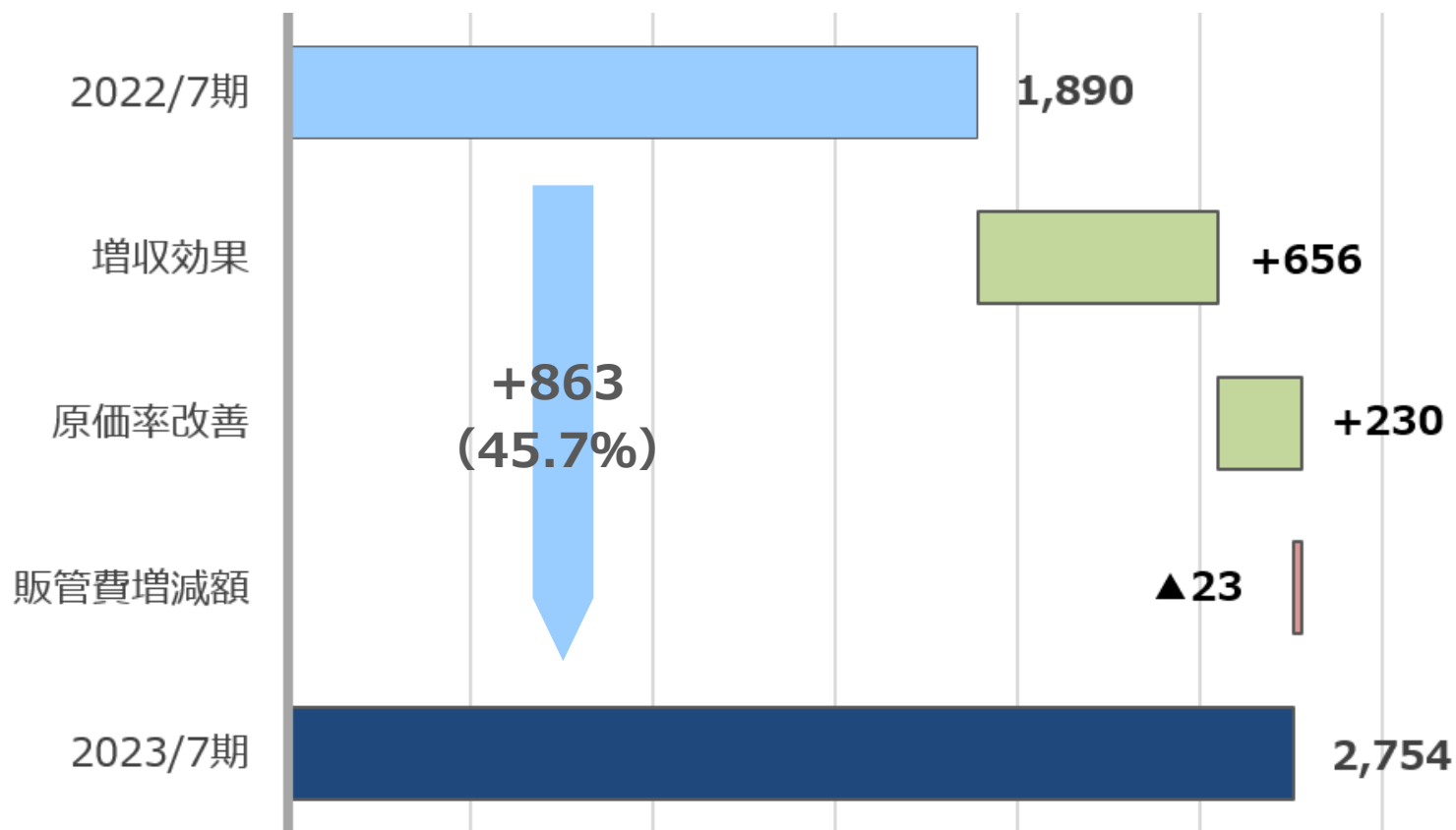
(単位：%)



連結営業利益 前期比増減要因

- ・ 価格改定による増収効果・原価率改善を主な要因として増益

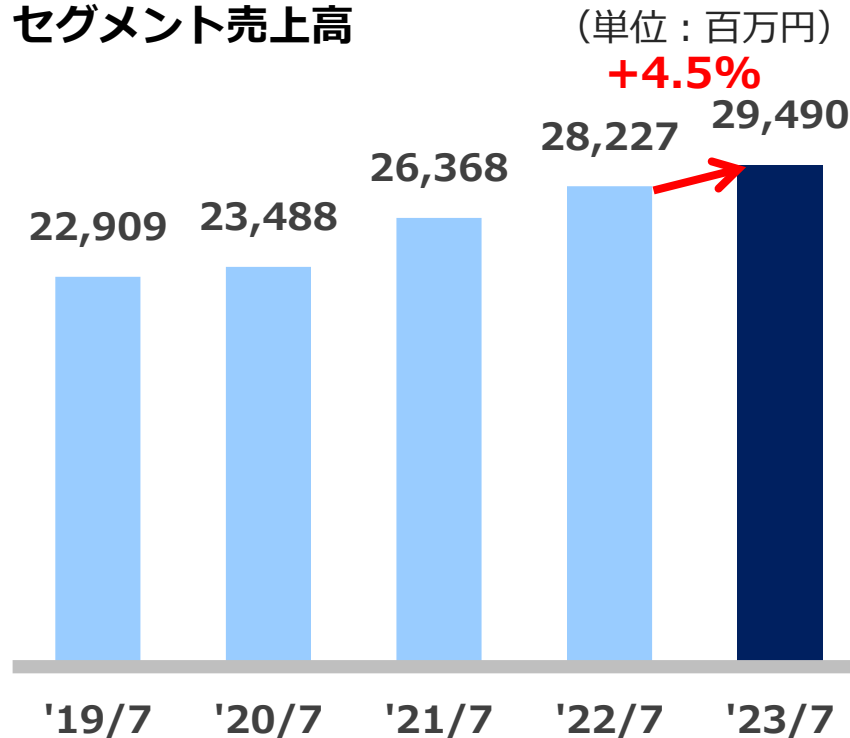
(単位：百万円)



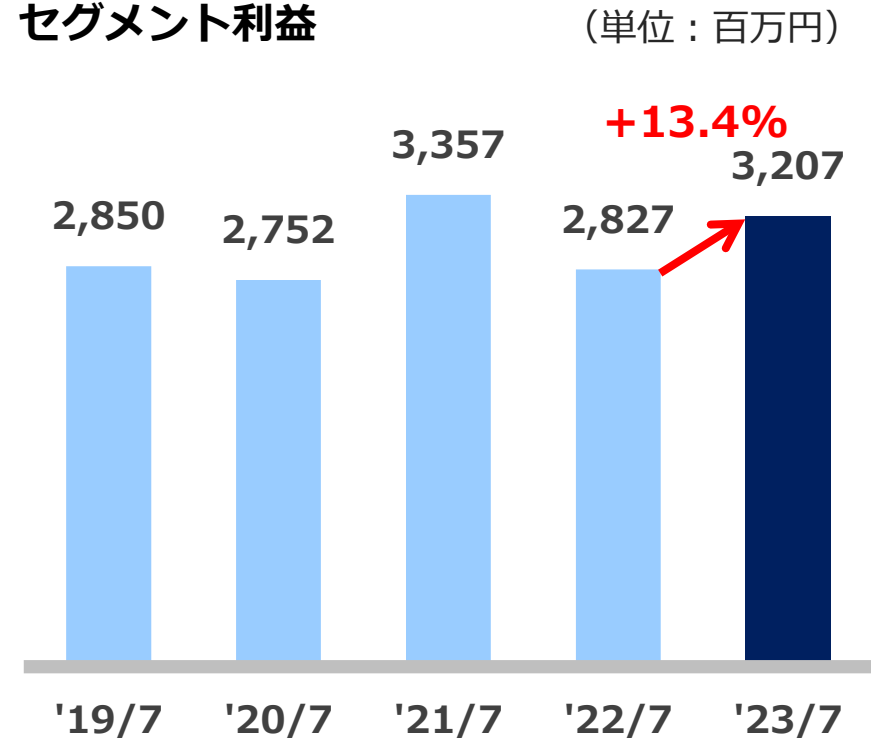
鋼製物置セグメント

- ・セグメント売上高は、1,262百万円（4.5%）の増収
- ・セグメント利益は、379百万円（13.4%）の増益
- ・鋼材価格などの高騰に伴い、2022年7月・2023年1月に価格改定を実施

セグメント売上高



セグメント利益



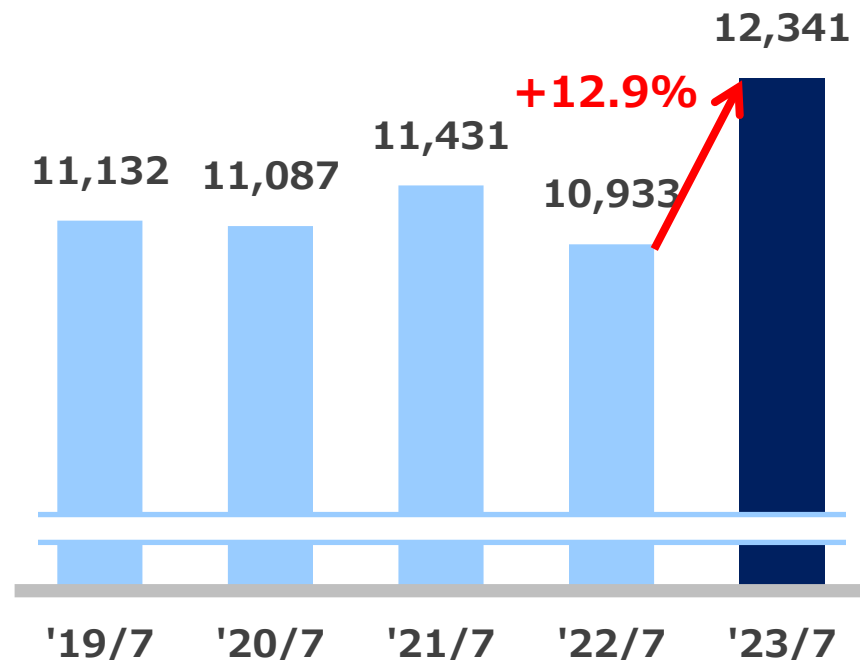
※売上高には、セグメント間の内部売上が含まれているため、業績サマリー（3ページ）の数値と必ずしも一致しません

オフィス家具セグメント

- ・セグメント売上高は、1,408百万円（12.9%）の増収
- ・セグメント利益は、518百万円（約13倍）の増益
- ・鋼材価格などの高騰に伴い、2022年8月・2023年1月に価格改定を実施

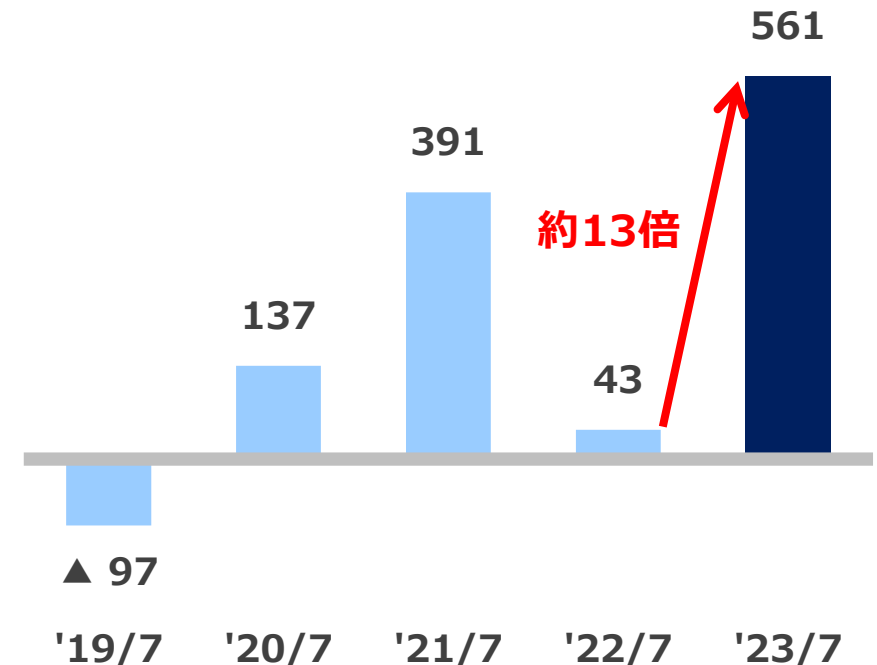
セグメント売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



※売上高には、セグメント間の内部売上が含まれているため、業績サマリー（3ページ）の数値と必ずしも一致しません

2024年7月期は増収減益の見通し

- ・売上高は価格改定効果、新製品投入などにより、5.2%増収の計画
- ・原材料価格などの高止まり、設備関連費用等の増加を見込み、営業利益は6.7%減益、経常利益は6.3%減益

(単位:百万円)	2023/07期		2024/07期		
	実績	対売上比	予想	対売上比	前年比
売上高	41,824	100.0%	44,000	100.0%	+5.2%
鋼製物置	29,484	70.5%	31,000	70.5%	+5.1%
オフィス家具	12,339	29.5%	13,000	29.5%	+5.4%
営業利益	2,754	6.6%	2,570	5.8%	▲6.7%
経常利益	3,106	7.4%	2,910	6.6%	▲6.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,970	4.7%	2,270	5.2%	+15.2%

2023年7月期の業績について

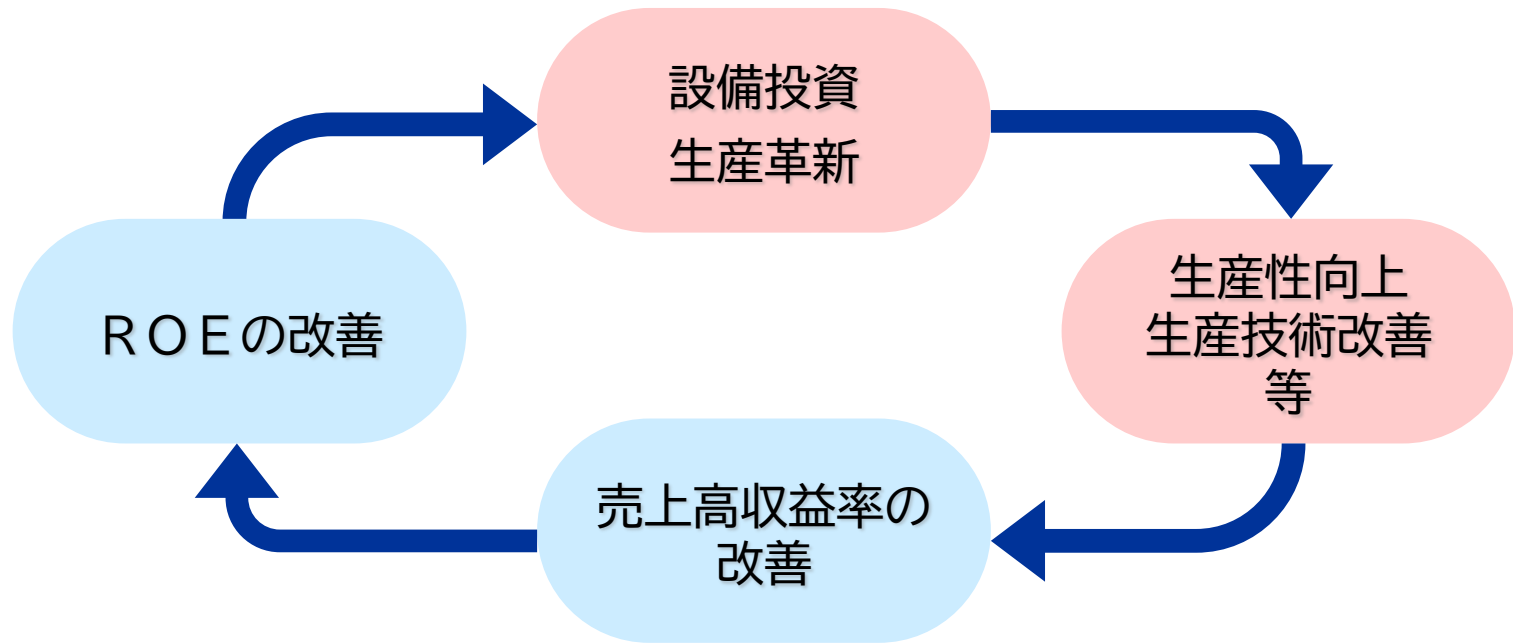
持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

【ご参考】会社概要

基本的な考え方

- ・ 持続的成長・中長期的な企業価値向上には、**生産革新、積極的な設備投資が重要**との認識のもと、2014年着工の富岡工場新設をスタートに、犬山工場・柏工場の刷新を進めてまいりました。
- ・ これを更に進め、将来にわたる資本収益性の維持・向上を目指します。



これまでの取組

富岡工場を新設しました

- (主な狙い)
- ・自動化の推進
 - ・大型製品の生産能力増強

犬山工場の物置生産ラインの全面更新・塗装設備の更新 ならびに倉庫レイアウトの変更を行いました

- (主な狙い)
- ・生産性向上、自動化の推進
 - ・環境負荷軽減（溶剤→粉体塗装化）
 - ・物流負荷軽減

柏工場塗装設備を更新しました

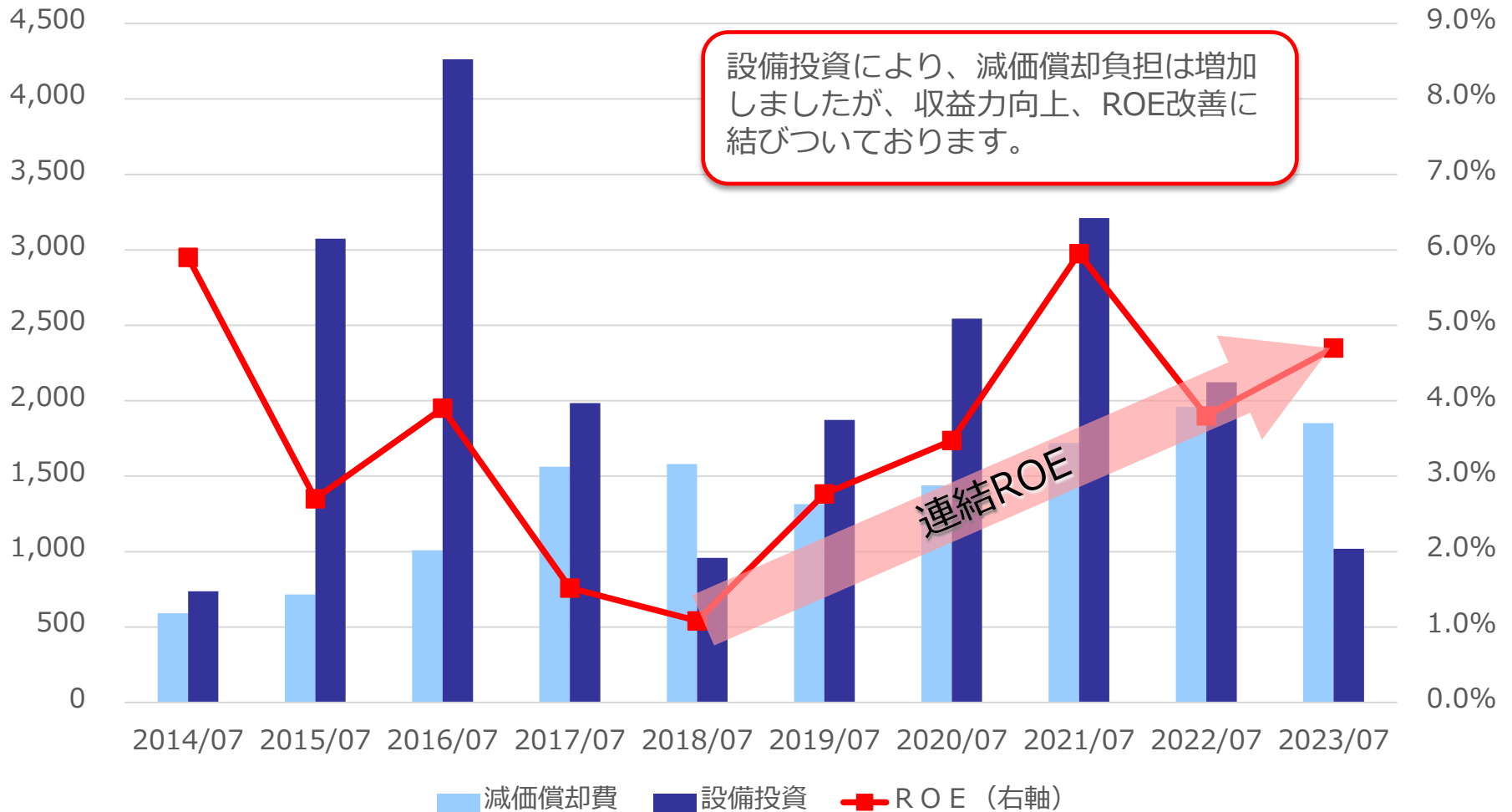
- (主な狙い)
- ・環境負荷軽減（溶剤→粉体塗装化）

これまでの取組

2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
▲完成 富岡メガソーラー 稼働開始 (2メガワット)			▲完成 富岡工場 稼働開始		▲完成 富岡工場 第二倉庫棟 稼働開始			▲完成 富岡工場 設備棟 稼働開始		
富岡工場設備投資						88億円				
						▲着手 ▲完成 犬山工場物置生産ラインの 全面更新・塗装設備の更新				
						投資額 20億円				
						▲完成① ▲完成② 柏工場塗装設備更新				
						投資額 14億円				

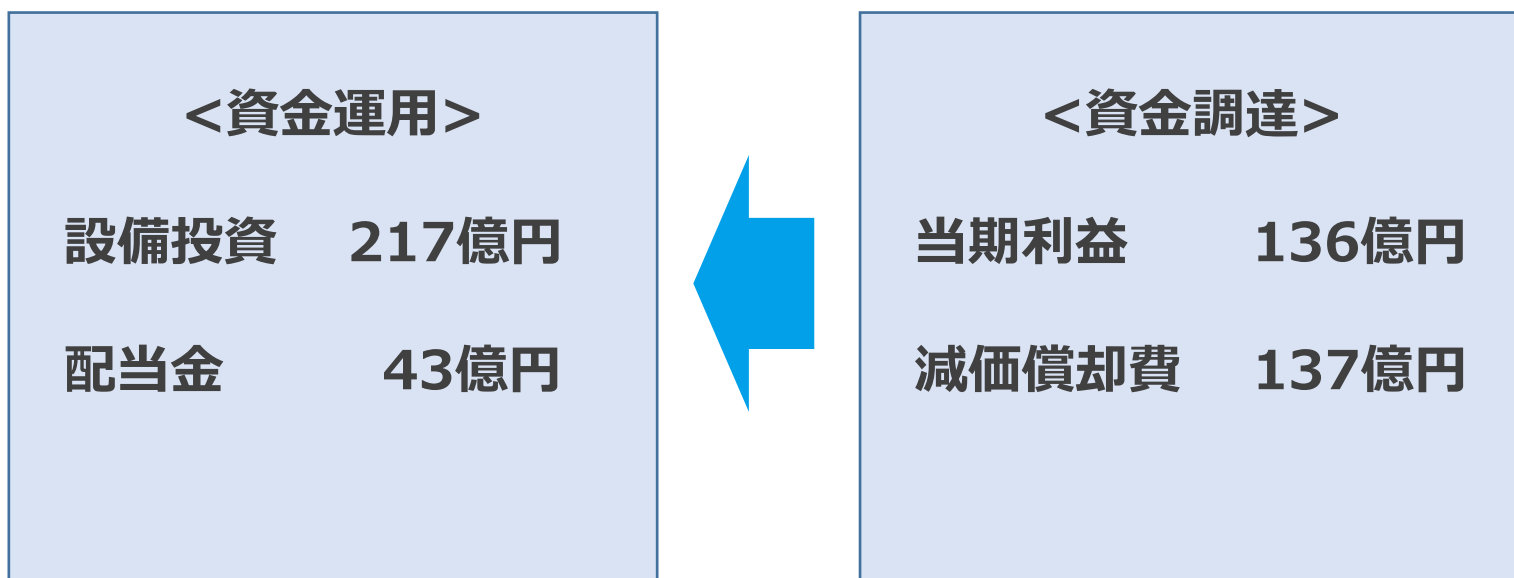
10年間の設備投資・ROE推移

これまで10年間の設備投資・ROE推移（2014年7月期～2023年7月期）



これまで10年間の設備投資等の累計(連結ベース)

資金運用調達の概要 (2014年7月期~2023年7月期)



- ・10年間の設備投資額合計は217億円となります。
- ・10年間の配当金合計は43億円、通算の配当性向は 31.8% となります。

これからの取組

これまでの3工場体制の確立、設備刷新を基盤として更に、以下の設備投資を進めます。

大型製品（倉庫・ガレージ）の生産能力増強を図ります

- ⇒富岡工場に加え、犬山工場に大型製品生産ラインを新設します。
- ⇒併せて西日本地区への大型製品物流効率化を図ります。

犬山・富岡・柏の3工場最適生産体制構築を目指します

- ⇒オフィス家具の生産を、犬山工場から
主要マーケットである首都圏に近い柏工場に生産移管します。
- ⇒柏工場の一般物置生産の一部を富岡工場に移管します。

これらを通して、収益力の向上、ならびに物流負荷軽減とBCPの強化をめざします。

これからの取組

2024/7

2025/7

2026/7

▲着手

▲稼働開始

犬山工場 大型製品生産設備新設

(狙い：大型製品生産能力増強・西日本地区への物流効率化)

▲順次移管

▲完了

犬山工場→柏工場へのオフィス家具生産移管

(狙い：首都圏マーケット隣接工場での生産による納期短縮・物流効率化)

▲着手

▲稼働開始

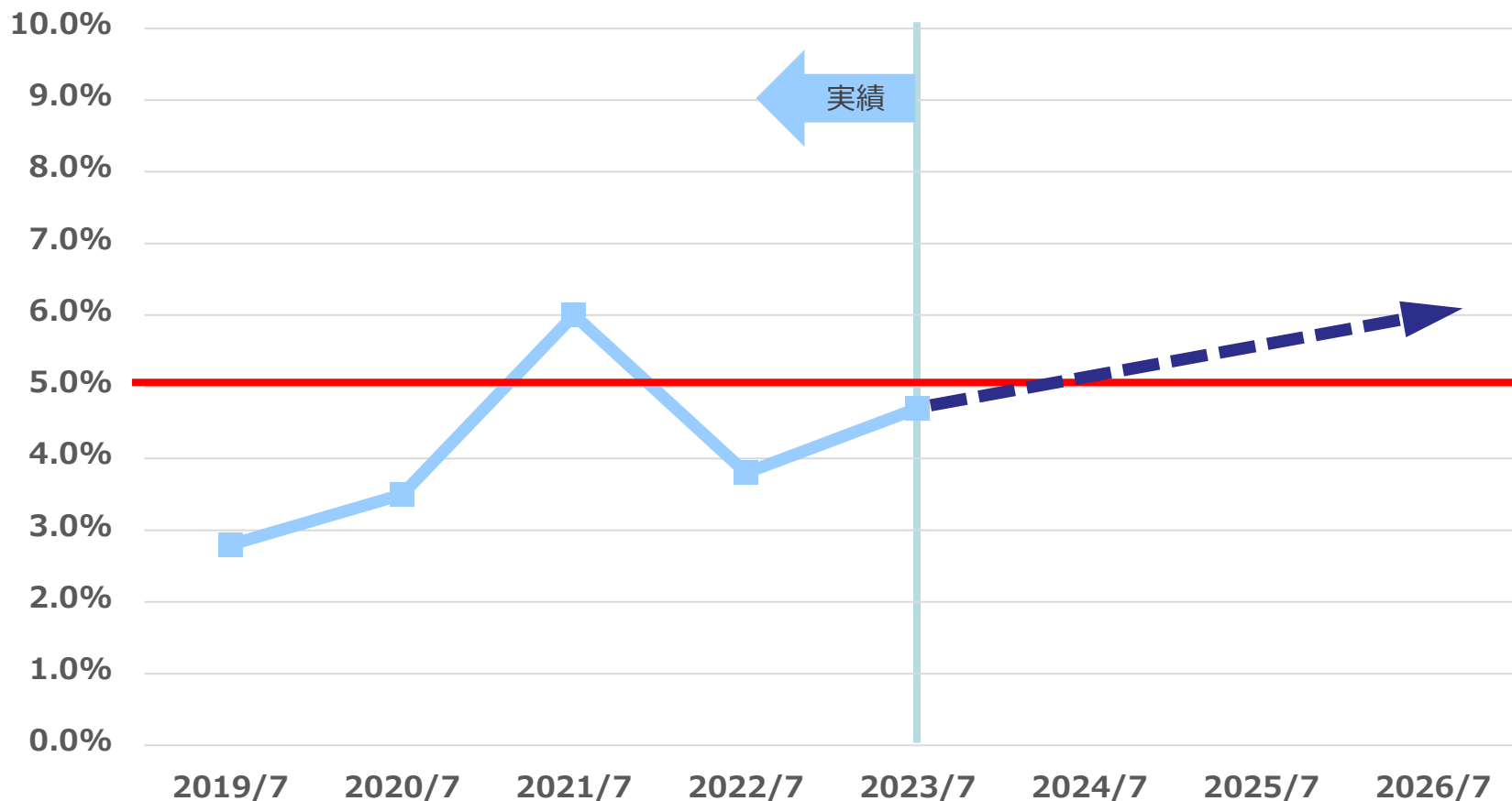
富岡工場 一般物置一部生産開始

(狙い：柏工場からの一部移管・BCP対応)

投資額見込み 32億円

生産革新等により、ROE5%以上の資本収益性確保を目指します

ROE推移



特別配当を実施します

安定的かつ継続的な配当に努める配当政策は不変ながら、

2023年7月期 期末

普通配当13円+特別配当10円
年間36円の配当

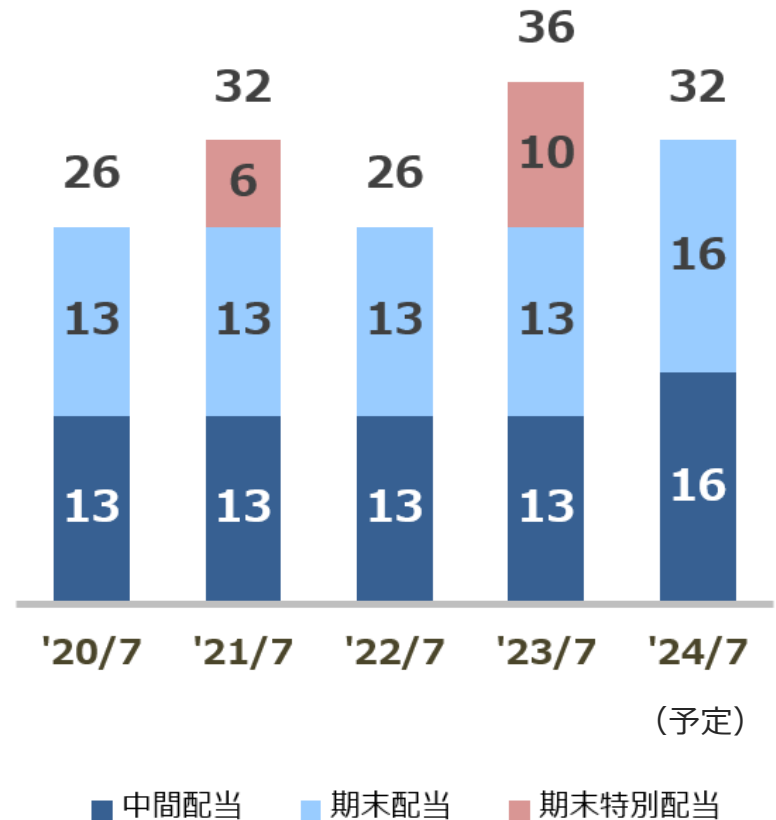
2024年7月期 配当予想

中間配当16円+期末配当16円
年間32円の配当

とすることを決定しました。
持続的な利益成長と企業価値向上につながる設備投資を優先的に行うことが、株主共通の利益に資すると考えておりますが、配当、設備投資、内部留保、業績等を勘案し、弾力的に決定してまいります。

配当金額の推移

(単位：円)



自己株式消却を決定しました

会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を
2023年9月13日取締役会で決定しました。

- ・ 消却する株式の総数 900,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 5.0%)
- ・ 消却予定日 2023年10月31日

2023年7月期の業績について

持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

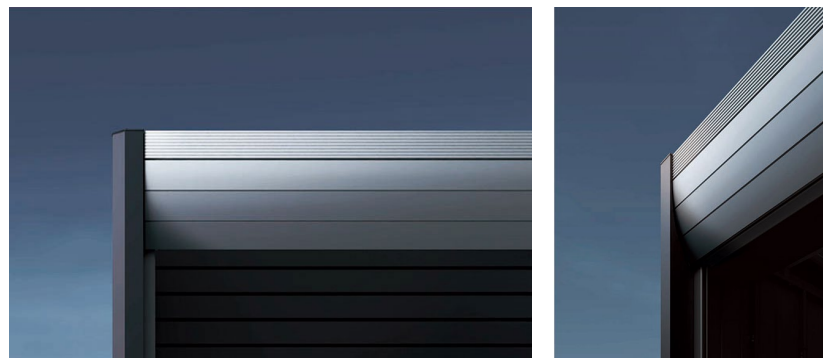
【ご参考】会社概要

新バイクガレージ「アルシア フィット」発売

ARCIA FIT

アルシアフィット

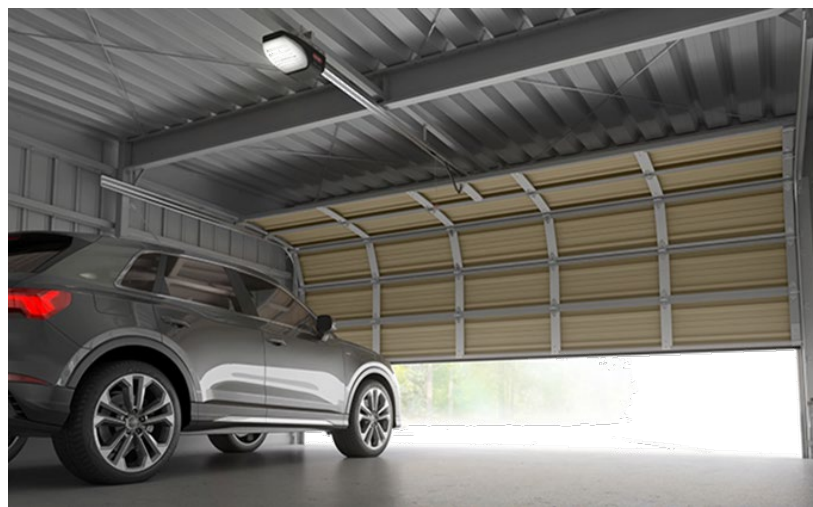
- ・ 2023年9月発売
- ・ 好評のデザイナーズガレージ「アルシア」にバイクガレージサイズを追加
- ・ シンプルで上質なデザインと豊富なオプションで自分好みの空間に



電動開閉ガレージ「タフレイジ」発売

タフレイジ
TAFRAGE

- ・ 2023年 9月発売
- ・ 指定建築材料を使用した軽量鉄骨造で、頑丈な構造体のガレージ
- ・ 【多雪型では当社初】 乗用車 2 台用のガレージで庫内柱がない大空間を実現



開口部はパネルが天井に沿ってスライドする
オーバースライド方式

小型収納庫「シンプル」に新色を追加

シンプル

- ・ 2023年 8月発売
- ・ 落ち着いた端正な佇まいの新色を追加
- ・ 本体色と扉色に光沢感が控えめな「フランネルグレー」色を採用



従来色

オフィスをもっと、シームレスに。新デスク「レジェロ」発売



レイアウトも配線も、オプションも自由を選択でき、働き方に合わせてフレキシブルに対応。
ワイヤリング機能にも優れ、細くスタイリッシュな脚部の内部を通しスッキリとした外観を保つ。



配線を美しく収納



パーソナルロッカー「イプリア」 バリエーション拡充

iprea

用途に合わせた柔軟な拡張性を備えたパーソナルロッカー「イプリア」に、新たなサイズ・タイプ・オプションを追加し、バリエーションを拡充。



ロッカーとワードローブの組み合わせも自在に

木目化粧パネルなどオプション品を追加

Lサイズ

縦長サイズ

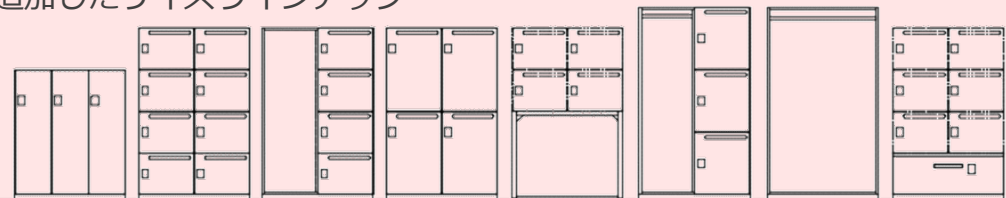


ロッカーのサイズにLサイズ・縦長サイズを追加

従来のサイズラインアップ



追加したサイズラインアップ



ユアサ商事様より「ガレージゴルフ」発売

ユアサ商事株式会社 様

- ・イナバ倉庫・ガレージを活用し、
シミュレーションゴルフと組み合わせた
「ガレージゴルフ」を発売



イメージ

※詳しくは、発売元であるユアサ商事株式会社様の
ニュースリリースをご覧ください。



納入事例（外観）



納入事例（内観）

二重構造物置の用途事例

近鉄不動産 様「K・DogSpa」

- ・セルフ式ドッグスパ店舗に、
二重構造物置「ナイソー」を採用



ナイソー

K・DogSpa 高安西店



K・DogSpa 河内花園店




2023年7月期の業績について

持続的成長・企業価値向上への取組について
～資本収益性改善に向けて～

新製品・事例のご紹介

【ご参考】 会社概要

会社概要

社名	株式会社稲葉製作所（英文名：INABA SEISAKUSHO Co., Ltd.）	
代表者	代表取締役会長 稲葉 明 / 代表取締役社長 稲葉 裕次郎	
本社	〒146-8543 東京都大田区矢口2丁目5番25号	
創業・設立	【創業】1940年4月【設立】1950年11月	
資本金	11億3,204万8,500円（2023年7月31日現在）	
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで	
上場	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3421）	
従業員数	【単体】886名【連結】1,103名（2023年7月31日現在）	
事業内容	オフィス家具・物置の製造、販売	
事業拠点	工場：3 営業所：9 配送センター：23	
連結子会社	イナバインターナショナル株式会社 イナバクリエイト株式会社 株式会社共進	
URL	https://www.inaba-ss.co.jp/	

創業以来「モノづくり」にこだわり続けて成長

1940年

創業者稲葉庄市が
プレス加工業を創業



1950年

株式会社稲葉製作所
設立



1961年

オフィス家具
生産開始



1975年

イナバ物置
生産開始

1986年

デスク「Trygon」
グッドデザイン大賞受賞



1987年

「100人乗っても大丈夫！」
CMスタート



2000年

東京証券取引所上場

2007年

本社新社屋完成



2012年

イナバ倉庫発売



2013年

イナバ富岡メガソーラー
発電開始



2016年

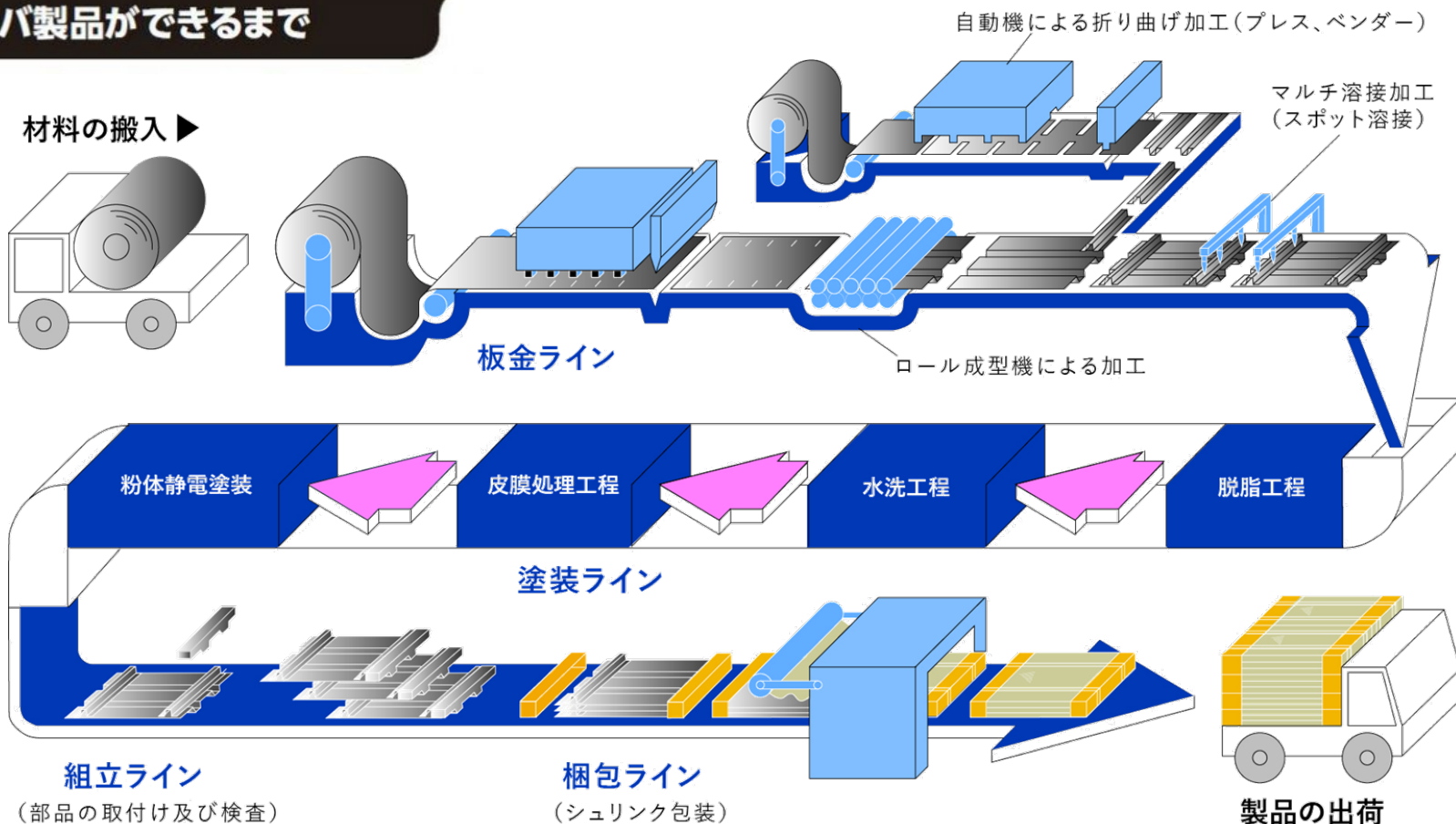
富岡工場稼働

材料切断～梱包まで一貫生産。高品質と低コストを両立

高い自社生産比率が、
ハイコストパフォーマンスを具現化します。

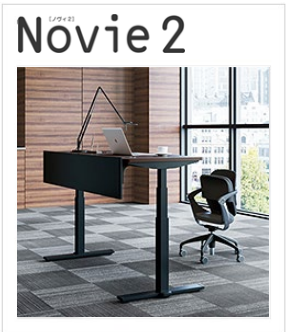
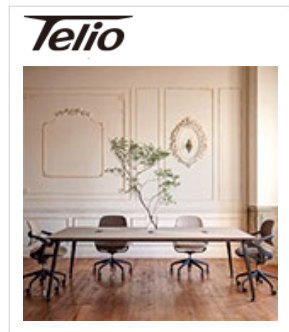
イナバの製造に関する内製比率は極めて高く、90%強となっています。メーカーから直接搬入されるコイル、アルミ素材など原料の加工から最終検品まで、すべて自社で一貫して製品化する体制がとられています。また、加工専用機械や金型製作、ライン編成、塗装設備等も自社で設計、製作。徹底的に合理化が図られていますので、コストの削減に寄与した、高品質な製品を提供することができます。

イナバ製品ができるまで

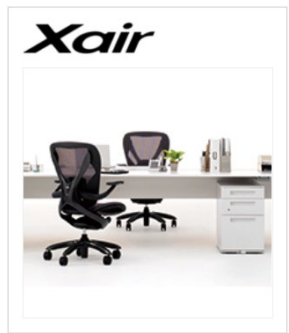


Inaba Office System ラインアップ

■ デスク



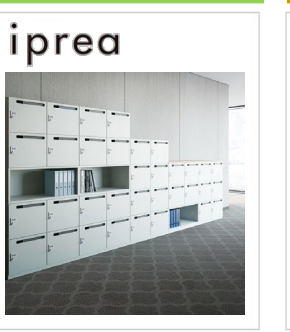
■ チェア



■ パーティション



■ ユニット収納



■ 防災備蓄



イナバ物置 ラインアップ

イナバ物置

■ 小型物置

ドア型収納庫・タイヤ収納庫



アイビーストッカー
BJX Type
タイヤストッカー

収納庫



シンプル
MJX Type

二重構造収納庫



ナイソーシスター
KMW Type

■ 一般物置

断熱構造物置



ナイソー
SMK Type

断熱物置



FORTA^{プラス}
FP Type

中型物置



FORTA^{プラス}
FS Type

シャッター物置



ドロール
FF Type

大型物置



FORTA^{プラス}大型
FB Type

開放スペース併設物置



FORTA^{プラス}WITH
FW Type

■ パブリック（公共）スペース向け

ゴミ保管庫



dustbox mini
ダストボックス

連続型物置



FORTA^{プラス}・ドロール
FD・FL・FF Type

自転車置場



イナバ自転車置場

イナバ倉庫・ガレージ



イナバ倉庫

ARCIA

アルシア



ARCIAFIT

アルシアフィット

GARADIA

ガレーディア

タフレーション

TAFRAGE

物置で培った技術とブランドで「価値ある空間」を提供

イナバ物置

防災意識の高まり

防災備蓄倉庫



大型化・倉庫・
作業場ニーズ

自治体・法人等の備蓄

マンションなど
集合住宅の増加

イナバ倉庫・ガレージ

用途開発の先行事例

農業用・事業用ニーズ

レンタル収納 イナバボックス



INABA CREATE
イナバクリエイティブ株式会社

←室内型レンタル収納店舗
「プレミアムクローゼット」
〔建物に「イナバ倉庫」を活用し、
店内に「イナバ物置」を設置〕

農業用倉庫



店舗等



厳しい独自の品質管理

社内での独自試験

- ・ 厳しい基準の独自試験を社内で実施
- ・ 試験機器なども自社で制作

品質向上委員会

- ・ 各部門から役員も参加し毎月開催
- ・ 製品の開梱から組立まで行い、
組立のプロセスや完成品の品質を検証

沖縄曝露試験場

- ・ 強い日射しと海からの潮風に
長期間さらし、物置の耐久性をテスト



沖縄曝露試験場

信頼を深める「イナバファン」づくり

代理店様・販売店様との相互理解を深めるためのイベントを毎年開催。強固な販売ネットワークを構築。

物置勉強会

- ・販売員様を対象とした研修
- ・累計参加人数は延べ8万人超

物置組立競技会

- ・組立職人様の技能向上
- ・より良い製品開発へのフィードバック

代理店会

- ・代理店様とのコミュニケーション
- ・毎年この機会にCMを撮影

オフィストータルフェア

- ・オフィス家具新製品をPR
- ## 施工セミナー
- ・各地で小規模に多数回開催



▲組立競技会



▲オフィストータルフェア

環境配慮型企業としての取り組みを継続



ISO14001 認証取得

本社屋上ソーラーパネル

本社使用電力の1/3を賄う発電量



イナバ富岡メガソーラー

2メガワットの出力規模



そのほか…

- ・各拠点LED照明化
- ・工場の有害物質排出抑制

…など

将来に関する記述等について

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2023年9月27日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2023年9月27日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。